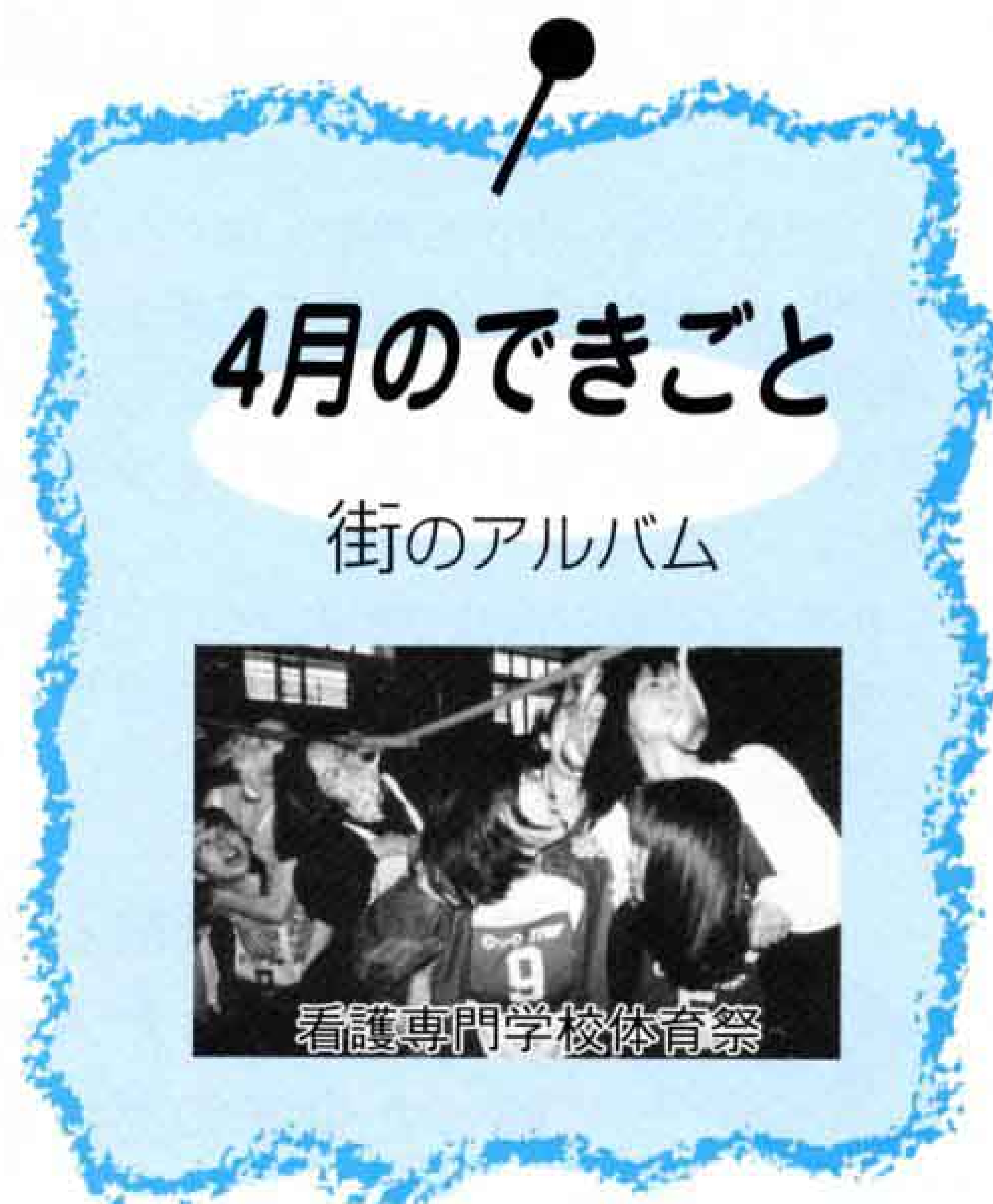




災害時の情報収集・伝達に威力を発揮 「富士市地域防災無線システム開局式」

4月7日 富士市は、災害時の情報収集・伝達がいち早く行われるよう、新しい方式の地域防災無線システムを県下に先駆けて導入。その開局式が、市長応接室で行われました。

この新システムで使われる無線機は、同時送受話方式で携帯電話と同じように使えるのが特徴です。災害によって電話網が寸断された場合にも、威力を発揮します。この無線機を、市庁舎内と出先機関、公民館、学校などの避難所、消防、消防団などに、合わせて200台設置。今後、災害時や緊急時などにこのシステムを有効活用していきます。



4月のできごと

街のアルバム



看護専門学校体育祭



緑と花を求めて大にぎわい 「緑と花の百科展」

4月13日 緑いっぱいのもちづくりを目指して、毎年4月と10月に行われている恒例の「緑と花の百科展」が、中央公園で行われました。

会場では、庭木、花木、草花、盆栽、観葉植物などの即売や、庭木のせん定実技講習会、草花講習会、擬木コンクールなど、さまざまな催しが行われました。中でも、バラの無料配布には、500株のバラの苗を求めて長蛇の列ができるほどの人気ぶり。うららかな春の日差しの中、家族連れなど約2万5,000人が訪れ、一日じゅうにぎわいました。

自然を満喫しながら体力づくり 「富士ふれあいウォーク」

4月27日 富士総合運動公園陸上競技場を起点に富士山南ろくを歩く「富士ふれあいウォーク」が行われました。これは、市民の体力づくり事業の一つとして、「富士山と一緒に歩こう」を合い言葉に毎年開催。ことしは、好天に恵まれ、20キロメートルと40キロメートルの部に過去最高の681人が参加しました。

コースの途中では、富士市体育指導委員が、健康チェックとあめや飲み物、バナナなどのサービスを行って、参加者を応援。参加者は、富士山南ろくの自然を満喫しながら、自分のペースで歩き、さわやかな汗を流しました。

